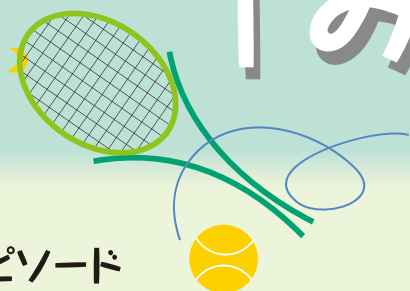


「みとめる」



エピソード

1

綾香は中学3年生。そろそろ進路のことを考えないといけない時期になってきた。綾香はテニス部に所属しており、テニスが強いB高校へ進学したいと思っている。

ある日、三者懇談があり、母親の正子と綾香の希望する学校が違うことがわかった。

正子「今の成績だったら、十分A高校に入れるのに、どうしてわざわざB高校へ行くの？」

綾香「だって、勉強すきじゃないし、もっとテニスがうまくなりたいからB高校に行きたいんだもん。前にお母さんに相談した時は、自分の行きたいところに行けばいいよって言ったじゃない！」



2

そこへ父親の武司が帰ってきた。

正子「お父さん、ちょうどいいところへ帰ってきたわ。綾香がB高校へ行きたいって言うのよ。」

綾香「お父さん、私、テニスがしたいからB高校へ行きたいの。」

武司「そうか、綾香が行きたいんだったらそれでいいんじゃないのか。」

綾香「やったあ〜！」

正子「もう、お父さんは綾香の言うことだったら、何でもいいって言うんだから！ちゃんと考えてよ。」



グループワーク

1 子どもの進路についてどのように考えますか



2 子どもと意見が違う時、あなたはどのようにしますか

